

# 国語科学習指導案

## 1 単元名「雪は新しいエネルギー」

『筆者の考えを読み、説明の特徴を考え、学習感想文にまとめよう』

## 2 単元の目標と評価規準

	目標	評価規準
知	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使うことができる。	情報と情報との関係付けの仕方、語句と語句との関係の表し方を理解し、使っている。
思	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。	「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。
	目的や意図に応じて、簡単に書いたり、詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、簡単に書いたり、詳しく書いたりしているとともに事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。
学	積極的に雪エネルギーの利用に対する筆者の主張と取り上げた事例の関係、残された課題などを検討し、今までの学習を生かして、筆者の説明の仕方や雪エネルギーの利用について考えをまとめることができる。	積極的に雪エネルギーの利用に対する筆者の主張と取り上げた事例の関係、残された課題などを検討し、今までの学習を生かして、筆者の説明の仕方や雪エネルギーの利用について考えをまとめようとしている。

## 3 単元の指導事項と児童の実態、それに関わる言語活動

単元の指導事項	児童の実態	指導観
思判表B (1) ウ	書き表し方の工夫 (構成の工夫) については、文章での表現活動において構成表を活用することで、自らの伝えたい思いや考えを伝えるための方法を考えることができるようになってきた。	論理的な説明文を扱う本単元において、筆者が自らの主張をどのような意図で組み立て、読み手に対して投げかけているのかを検討する活動を位置付けた。筆者の効果的な説明の仕方にふれることを大切にしたい。そのために、第1次において、「筆者の主張」「事例の扱い方」「構成の工夫」の3点に着目させる。第2次では、教材文の読み取りを通して、効果的な説明の仕方を検討する。第3次では、筆者の説明の仕方や筆者の主張に対する自らの考えを「学習感想文」にまとめる言語活動を位置付けた。
思判表C (1) ウ	問いに対して、必要な情報を見付けることができるが、効果的な論の進め方 (構成の工夫) を発見したり、検討したりすることには、意識が向いていない。	



### 単元のゴール (適切な言語活動)

筆者の考えを読み、説明の特徴を考え、学習感想文にまとめよう

## 4 単元の指導計画 (本時 網掛太字 4 / 5)

過程	1次	2次		3次
	構造と内容の把握	精査・解釈、考えの形成		共有
学習活動	○単元のゴールである学習感想文を書くことを確認し、学習の見通しをもつ。 ・学習用語の確認 「筆者の主張」「構成の工夫」「事例の取り上げ方」	○雪エネルギーを活用事例とその課題点を整理するとともに、どのような意図で構成したのかの検討する。	○筆者が取り上げた課題点がなぜそのような意図で取り上げたのかを考え、簡単な文章にまとめる。	○筆者の主張の組み立て方や説明の仕方について話し合い、それをもとに、学習感想文にまとめ、振り返りをする。
時数	1	2	1	1

## 5 本時について (4/5時間目)

### (1) 目標と評価規準

ねらい	評価規準
筆者の論の進め方について、自らの立場を明確にし、考えを述べ、交流することによって、筆者の意図を考えることができる。	筆者の論の進め方について、対話を通して、筆者が課題を取り上げた意図について考えている。

### (2) 本時の展開

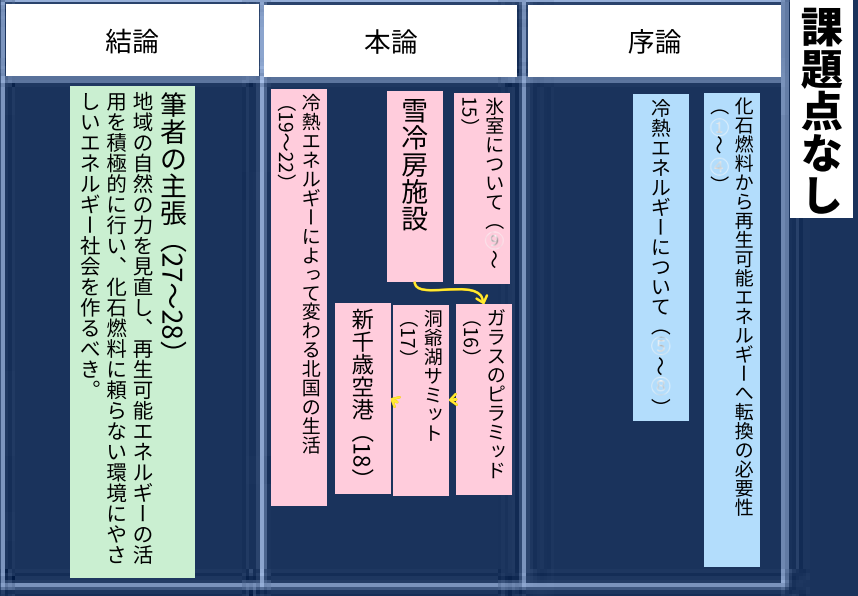
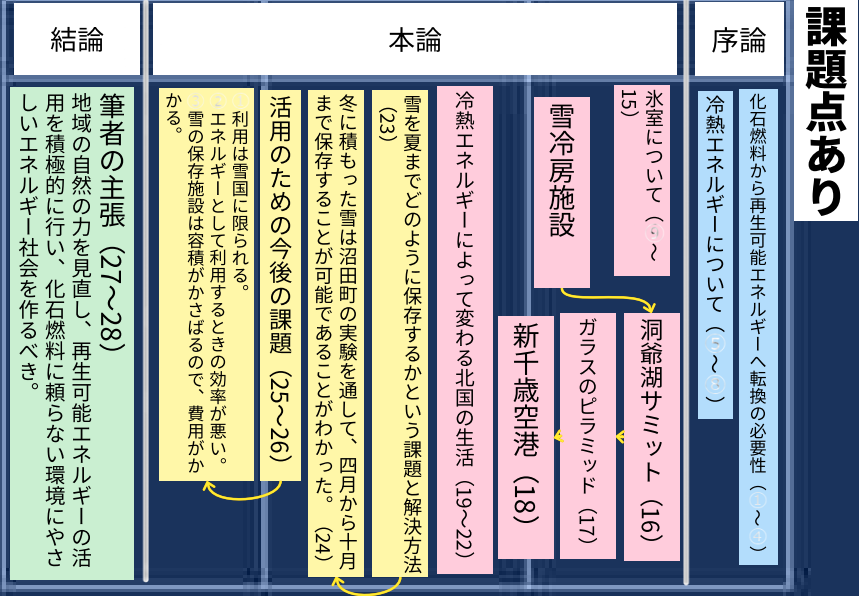
過程	児童の活動 ○活動 ・反応	教師の働きかけ	・留意点 ○評価 ■研究との関わり
つかむ	○学習計画表の確認 ・単元のゴールや本時の課題の確認 ○問題提示	・何のための学習かを確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留意点 ○評価</li> <li>■研究との関わり</li> <li>・学習計画表を使って、確認をする。</li> </ul>
	問題 筆者が構成で工夫しているところはどこだろう？	・構成表を全体に提示する。 発問：なぜ、筆者はあえて課題点を提示したのだろう？	
	・「雪は新しいエネルギー」の構成表を確認する。 ○課題設定	課題 筆者が構成をする上で、雪のエネルギーについて、課題点を挙げたのはなぜか。	
考える・深める	○解決の見通し ・課題①では、解決策が出ている。 ・課題②では、解決策が出ていない。 → この違いはなぜだろう？	・取り上げている課題①と②を提示する。 「提示した2つの課題の違いは何だろう」 『雪は新しいエネルギー』には、課題点をあえて挙げた方がよいか、それとも挙げない方がよいか。」	<ul style="list-style-type: none"> <li>■論の進め方について自らの考えをテキストカードに記載している。</li> <li>○論の進め方について構成表をもとに、記入したり、相手の考えをもとにしたりしながら考えることができる。(ロイロノートテキストカード)</li> <li>■対話活動を通して、自らの考えや相手の考えを比較することで、筆者の論の進め方について理解を深める。</li> <li>○論の進め方について対話活動をもとにして、理解を深めることができる。(発言)</li> </ul>
	○個人思考 ・課題点を入れることによって、どのような効果があるのかについて考えをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロイロノートの機能を活用した対話活動(1)</li> <li>①テキストカードに自分の考えを記入 ※つまづきがある児童については、提出した児童の意見を参考に意見を書くよう声掛けをする。</li> <li>②考えを記入した児童は、提出箱に提出し、他の児童の考えにふれる。</li> <li>③参考のできるアイデアがあれば、自らのノートに貼り付け、整理をする。</li> <li>・ロイロノートの機能を活用した対話活動(2)</li> <li>①画面配信や比較機能を活用し、交流を行う。</li> <li>②児童は自らの端末を使用し、考えを全体に発言する。</li> <li>③数名の児童の考えを取り上げ、黒板にキーワードを板書し、整理する。</li> </ul> <p>「交流したことをもとに、筆者があえて課題点を挙げた理由をあらためて考えてみましょう」</p>	
まとめ	○まとめ	筆者は、構成する際、あえて課題を取り上げた理由は、雪エネルギーが再生可能エネルギーの一つとして利用されるべきで、その問題をみんなで考えたいと思ったからではないか。(説得力を増すため、深く考えるためなど)	
まとめ	○振り返り ・授業の感想を述べる。		

筆者の考えを読み、説明の仕方の特徴を考えよう 「雪は新しいエネルギー」 学習計画表

第三次	第二次			第一次
五	四	三	二	一
<p>◎筆者の主張の組み立て方や説明の仕方について、話し合い、それをもとに、学習感想文にまとめて、振り返りをする。</p>	<p>◎雪エネルギーの利用によって雪国の生活が変化する可能性や課題について読み、整理する。</p>	<p>◎筆者が雪エネルギーの利用を主張するのはなぜか、これまでの事例を振り返って説明する。</p>	<p>◎雪エネルギーの利用のうち、氷室と雪冷房の事例について、その利用の仕方や利点などを読み、整理する。</p>	<p>◎単元のゴールを確認し、学習の見通しをもつ。                  ～雪についてのイメージ、説明とは？                  学習感想文について</p>
				<p>振り返り</p>

単元のゴール言語活動】  
 筆者の説明の仕方について、効果的に説明する方法についての学習感想文を書こう。  
 ◎よくできた ○できた △あまりよくなかった  
 振り返り

# 課題点のありとなしを比べて、伝わり方の違いを考えよう！



【課題ありとなしを比べて気づいたこと】

結論	本論	序論	課題点なし
<p>雪エネルギーの活用 (27~28)</p> <p>雪エネルギーの活用は、雪の蓄積によるエネルギーの蓄積と、雪の融解によるエネルギーの放出とを、雪の蓄積と融解のサイクルを繰り返すことで実現する。</p>	<p>雪の蓄積によるエネルギーの蓄積 (27)</p> <p>雪の融解によるエネルギーの放出 (28)</p> <p>雪の蓄積と融解のサイクル (29)</p> <p>雪の蓄積と融解のサイクルの繰り返し (30)</p> <p>雪の蓄積と融解のサイクルの繰り返し (31)</p> <p>雪の蓄積と融解のサイクルの繰り返し (32)</p>	<p>雪の蓄積と融解のサイクルの繰り返し (33)</p>	

結論	本論	序論	課題点あり
<p>雪エネルギーの活用 (27~28)</p> <p>雪エネルギーの活用は、雪の蓄積によるエネルギーの蓄積と、雪の融解によるエネルギーの放出とを、雪の蓄積と融解のサイクルを繰り返すことで実現する。</p>	<p>雪の蓄積によるエネルギーの蓄積 (27)</p> <p>雪の融解によるエネルギーの放出 (28)</p> <p>雪の蓄積と融解のサイクル (29)</p> <p>雪の蓄積と融解のサイクルの繰り返し (30)</p> <p>雪の蓄積と融解のサイクルの繰り返し (31)</p> <p>雪の蓄積と融解のサイクルの繰り返し (32)</p>	<p>雪の蓄積と融解のサイクルの繰り返し (33)</p>	

### (自分の考え)

課題点があったほうがいいと思う。理由は初めて読んだ人が雪エネルギーは利点しかなくて課題点がないとも思われてしまうから課題点を入れたほうがわかりやすく伝わると思ったから課題点を入れたほうがいいと書いた。

【課題ありとなしを比べて気づいたこと】  
 課題点ありだと読んでいるがわも納得する。  
 課題点なしは、シンプルだけど、読んだいるがわが、課題点があり ○○さんの引用した

私は課題点をあえて入れる、完璧じゃない事を入れることで理解、納得しやすいことがわかった。また、      さんの課題点を入れる理由が1番納得できました。課題点を考えてそれをどう解決するかを考える楽しさ。私は、雪は新しいエネルギーを読むのが楽しくなりました。

筆者の説明の仕方や効果的に説明する方法について「主張」「事例（の取り上げ方）」「構成の工夫」の三つの言葉を使って、学習感想文を書こう。

筆者の説明を効果的に表現するには、課題点を入れることが特に大切だと思います。理由は、読み手（聞き手）に詳しく情報が伝わるからです。

例えば、読み手に疑問を投げかけると「どうしてだろう?」と、考えますよね。

そして、その疑問がわかると「そういうことだったのか?」と、感心（納得）します。また、課題点を考える楽しさも読み手に新しい気持ちが生まれます。そう考えると課題点は、必要だと思いませんか?

このように、課題点を入れることで読み手（聞き手）に詳しく情報が伝わります。また、読み手も課題点を考えることで

「楽しい!」と、いう新たな気持ちが生まれます。これから、説明文を読む時中に課題点に注目してみてください。あなたも「楽しい!」と、いう気持ちが生み出されるはずですよ。